

6-3 3/6時の指導計画

(1) 目標

心情や行動を表す語句に注意して読み、人物像を捉えることができる。

(2) 展開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ I C T 活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導入	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の目標を確かめる。</p>	学習計画表 ワークシート③	○2~3名の生徒に前時の「振り返り」の欄に書いたことを発表させる。 ◆前時の学習活動において「十分満足できる」状況(A)にあった生徒の記述を紹介し、描写に注意して読み、内容を理解して感想をもつことについて理解を深めさせる。	
展開	<p>2 登場人物について書かれていることに気を付けて過去の場面Iを読む。</p> <p>〔手順〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 「僕」と「エーミール」についての説明の言葉や、心情や行動を表す言葉にマーキングをする。〔個〕 ワークシート④の一覧表を用いて、観点ごとにマーキングした言葉をまとめる。〔個〕 心情や行動を表す言葉の意味を調べて理解を深める。〔個〕 言葉の意味を調べることで気が付いたことや理解が深まったことを書く。〔個〕 グループで交流して理解を深める。〔グループ〕 	本文ワークシート<II> ワークシート④	○想像を膨らませるために手掛かりとなる表現をしっかり読み取る必要があることを意識させる。 ○登場人物の人物像を捉えるために読むという意識を明確にもたせ、人物についての説明や描写にマーキングをさせる。 ○繰り返し出てくる言葉や、人物像を捉えるのに重要なと思われる語句を調べるように促す。	<p>【言①】心情や行動などを表す多様な語句の働きについての理解を深め、描写に注意して読んでいく。</p> <p>【ワークシート④】</p> <p>心情や行動などを表す語句の意味を理解し、文章を読むことに役立てている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> <p>心情や行動などを表す語句の1つを選んで、辞書の意味を文脈上で具体的な意味に当てはめて考えさせ、感想を深めるのに役立たせる。</p>

展開	<p>3 「僕」と「エーミール」の人物像や関係を捉える。</p> <p>[手順]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文書に書かれていることを根拠にして人物像を書く。[個] 2) 文章に書かれていることを根拠にして「僕」と「エーミール」の関係を書く。[個] 3) グループで交流して考えを広げたり深めたりする。[グループ] 4) グループで話し合ったことについて学級で報告し合う。[一斉] 5) グループでの話し合いや学級での報告を通して広がったり深まったりした自分の考え方をまとめめる。[個] 	ワークシート④	<ul style="list-style-type: none"> ○マーキングをした表現を根拠にして、「僕」と「エーミール」の人物像や関係をワークシート④にまとめる。 ○「僕」や「エーミール」の心情や行動を表す言葉に注目させて考えさせる。 ○互いにどういう存在かを考えさせるとともに、関係を表す言葉を使って表現させるようする。 ○参考になる発言をメモしておくように促す。 ○登場人物の人物像と互いの関係について、グループでの大体の考え方と、参考になった発言を報告させる。 	<p>[読①] 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解して自分の感想をもつていている。</p> <p>【本文ワークシート②】</p> <p>【ワークシート④】</p> <p>文章に書かれていることを根拠にして、登場人物の人物像と互いの関係を書いている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <p>ワークシート④に例示した人物の性格や互いの関係を表す言葉を読ませ、使えそうな言葉をそれぞれ1～2語ほど選ばせ、その言葉を使って書くように促す。</p>
	<p>4 学習計画表の「評価」の欄に学習活動をA・B・Cの3段階で自己評価して書く。また、「振り返り」の欄に「学んだこと・参考になったこと」を文章で書く。</p> <p>5 次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に応じて学習内容がどうであったか考えて振り返るよう促す。 ○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での参考になった発言などを書くように促す。 ○ワークシート⑤を配布し、次時は、心情描写に注意して読み、心情を想像することを確認する。 	